



知って
おきたい!

RevMate 薬剤管理モデル②

RevMate®にご協力いただいている看護師の皆さまへ、RevMateに関する情報や日頃の業務に役立つ情報をシリーズでお届けいたします。引き続き、レブラミド®・ポマリスト®の適正使用へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

入院時の薬剤管理モデル

入院時の薬剤管理を行うための参考として、誤投与対策を考慮した各医療機関の取り組みを紹介した入院時の薬剤管理モデルを掲載いたします。



- こちらに掲載している入院時の薬剤管理モデルは、RevMate実施施設のうち代表的な医療機関で行われているもので、各医療機関で実施している薬剤管理方法に対して変更を求めるものではありません。あくまでも参考事例としてご覧ください。

入院時の薬剤管理モデルNo.3

病床数	約700床		
血液専門病棟	有	病棟薬剤師	有
① 病棟への薬剤供給	<ul style="list-style-type: none"> ●病棟薬剤師が病棟へ搬送する(リーダー看護師へ手渡す)。 ●看護師へ渡す際は、管理手順の遵守、服薬確認後の空シートを廃棄せずにレブメイトキット※に入れて保管する旨を伝える。 		
② 薬剤の保管	<ul style="list-style-type: none"> ●スタッフステーション内の鍵のかかる保管庫へ、レブメイトキットに入れて保管する(他の薬剤と区別する)。 		
③ 配薬時	<ul style="list-style-type: none"> ●看護師は他の看護師とダブルチェックを行った後、患者さんへ本人確認をしてから配薬する(院内ルールに準ずる)。 ●看護師はレブメイトキット内にある薬袋に残薬数を記載する。 		
④ 服薬確認	<ul style="list-style-type: none"> ●看護師が服薬を見届けて空のPTPシートを回収し、レブメイトキットに保管する。 ●服薬状況を記録する。病棟薬剤師は看護師が記載した治療日記の記録で服薬確認を行う。調剤室薬剤師は提出されたレブメイトキット内の空のPTPシートで服薬確認を行う。 		



●運用のポイント

1 レブラミド・ポマリストを使用する際は、医師から薬剤師へ事前報告

2 報告を受けた薬剤師は、患者さんの医療情報端末※へ登録を行う

※患者さんの医療情報端末とは電子カルテのこと。レブラミド・ポマリストは患者さん限定薬としており、個々の患者さんの医療情報端末に該当薬の登録を行うことにより処方オーダー可能となるシステムを使用している。

3 病棟ではリーダー看護師を中心にレブメイトを運用



入院時の薬剤管理モデルNo.4

病床数	約500床
血液専門病棟	無 病棟薬剤師 有
① 病棟への薬剤供給	●レブメイトキットに入れて、病棟薬剤師が病棟看護師に手渡す(自己管理の場合は、担当看護師に確認し患者さんに手渡す)。
② 薬剤の保管	●レブメイトキットに入れて病棟で預かり、鍵管理を行う(レブメイトキットの外側に患者氏名を表示。退院時は患者さんと相談して表示を取る)。自己管理の場合は、患者さん自身で管理を行う。 ●初回指導時、はじめの1週間は看護師が管理し、2週目頃から自己管理練習を実施する。
③ 配薬時	●患者認証用の病院ID(バーコード管理)を配薬カートに設置し、患者誤認防止を行う。 ●配薬カート外側に「レブラミドあり」と表示し、配薬忘れを防止する。 ●看護師が作成したチェックシートで数量確認を行う。
④ 服薬確認	●看護師管理、自己管理ともに看護師による服薬確認を行う。 ●理解度に不安がある患者さんは1日1回、薬剤師による服薬状況の確認・評価・指導を行う。 ●内服後のPTPシートは破棄せずレブメイトキットへ保管する(次回調剤時に数量を確認し、回収する)。



●運用のポイント

- 1 基本的にレブラミド・ポマリストは入院導入し、看護師管理から自己管理練習に移行
- 2 レブメイトキットの外側に患者氏名を表示し、退院時に患者さんと相談して表示を取る
- 3 看護師が作成したチェックシートで数量確認を実施

2 レブメイトキット



3 チェックシート

ID	レブラミドカプセル確認表						
日付							
残数							
サイン							

RevMate®センター



お問い合わせ先
☎ 0120-071025
受付時間 9:00~18:00 (日・祝日・年末年始を除く)

レブメイト



<https://www.revmate-japan.jp/>

